

東京大学工学部・工学系研究科 国際交流ガイド

# Go Global, Engineering Students!

2025



キャンパス内での活動から留学まで

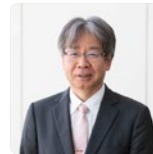
未来につながる今必要な国際交流

# Message

## [工学部長・工学系研究科長のメッセージ]

加藤 泰浩

工学系研究科長・工学部長



皆さんは東京大学に入学前も入学してからも授業等で英語をずっと勉強していると思いますが、なんとなく英語に苦手意識がある方はいませんか。

今後皆さんが進学して研究を続ける場合でも、あるいは就職する場合でも、これからは英語が必要な環境になるはずです。それは時代の要請とも言えます。突然どのような環境になっても、英語で困らないために、今からアクションを起こしましょう。これまで皆さんは十分英語を学習してきましたので、英語をコミュニケーションの手段として使う

訓練と少しの勇気があれば、世界を相手に臆せず行動をとれるように必ずなります。

幸い工学部・工学系研究科においては、様々な国際関連のプログラムや授業を用意しています。学内のプログラムに参加することから始めることも、思い切って海外に短期・長期で留学して力をつけることもできます。本パンフレットを積極的に活用して、明日への一歩を踏み出しましょう。

## 多彩な工学部・工学系研究科の海外派遣プログラム (詳細はp.7)

プレ留学プログラムで始めの一歩を

(工学部短期学生海外派遣プログラム)

訪問先は自らアレンジ、  
海外著名研究室の門をたたく

(海外武者修行プログラム)

世界25ヶ国／地域、50校以上の選択肢から  
チョイスした大学で『工学』が学べる

(部局交換留学)

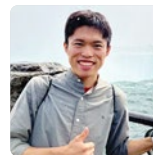
それぞれの特色・強みにフォーカス

(各学科・専攻・研究室 独自のプログラム)

## [交換留学経験者から] マクマスター大学 (カナダ)

増田 大地

工学系研究科修士1年 (留学時)



交換留学に応募した理由は、英語を話せるようになりたい、海外経験を積みたいという月並みな動機からであり、あまり明確な目標を持たずまま留学を始めました。それでも視野を広げ、多くの人と交流する中で貴重な経験を得ることができました。

現地では板金塑性加工の研究に取り組み、専門の構造工学とは異なる分野で見識を広げました。また、大学主催のハイキングやイベントに参加し、現地の人々や他の留学生と積極的に交流を深めました。

実は今振り返ると、上記に書いたことより寧ろ、様々な人と交わした

議論の方が記憶に残っています。海外に出ると自分が外国人となり、日本の宗教観・伝統文化・ポップカルチャー・政治姿勢等について日本人として説明することが求められます。いざ議論してみても初め自分の無知を知りましたし、他国の若者の知識や深い思考に感銘を受けました。私の場合、一年間かけてそれらの話題を日本人の立場から英語で説明できるようになったこと、他国の人々が何を日本人に期待しているのが少し分かったことが最大の収穫だと感じています。



# Courses

## 国際・英語関連の授業

①募集時期 ②実施日時 ③概要 ④参照URL、QRコード

工学部・工学系研究科は、英語学習や国際的な経験ができる授業の開講に力を入れており、海外の学生と共に学ぶ授業もあります。興味に合わせて授業を履修し、まずは「学内留学」してみませんか。※工学系研究科は2026年春から原則全ての授業が英語化されます。

### (Advanced) Academic Writing

①履修登録期間 ②S1/A1 ③アカデミックライティングの基本的性質と書き方などの講義・演習。S1のアカデミックライティングの授業は日本語で開講され、学部4年生・大学院生が対象。A1のAdvanced Academic Writingは英語で開講され、大学院生が対象。④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/course/awap>



### (Advanced) Academic Presentation

①履修登録期間 ②S2/A2 ③ネイティブスピーカー講師の指導による少人数クラスの演習形式で、英語での口頭発表能力の強化を図る。上記のアカデミックライティング、Advanced Academic Writingを受講し単位を取得した学生のみ受講可能。④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/course/awap>



### Workshop towards Communicating Engineers

①履修登録期間 ②Sセメスター ③工学者として国際的な場に立つための準備段階として、英語で他者と協働しながら工学に関する様々なタスクの完遂を目指す。授業を通して、英語コミュニケーション能力、コミュニケーションに対する自信、工学者になるための様々なスキルの涵養を図る。学部3年生が対象。④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/course/wce>



### Special Training for English Academic Communication

①履修登録期間 ②A1A2/S1S2 ③約2ヶ月に渡り、毎日約30分の話す・聞く・考える完全オンデマンド課題を集中講義として実施する。工学部内定生時の春休みか学部3年生時の夏休みのいずれか1回のみ履修可能。なお、単位と無関係に聴講することも可能(詳細はURL参照)。④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/course/steac>



### 国際連携(特別)演習(学部、大学院) / 国際連携(特別)実習(学部、大学院)

①履修登録期間 ②授業により異なる ③本学学生の国際力を強化するため、国を跨いだ学生の国際対話、PBL型の演習、リビングラボなどを取り入れた多様なハンズオンを含む演習科目を実施。オンライン/オンサイト、集中、分散など多様な実施形態がある。2025年度の開講予定科目:「国際理解とコミュニケーション」「グローバル共創型イノベーションプログラムⅠ・Ⅱ」「都市デザイン」「国際協働学習コース」「Virtual Exchange for Global Citizens」「国際交流を通じた英語コミュニケーション学習A/B」④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/course/ic/>



### 日韓集中講義(国際連携(工学)特別講義)<sup>※1</sup> / 日韓遠隔交換講義<sup>※2</sup>

①<sup>※1</sup>決まり次第UTAS等で通知 <sup>※2</sup>履修登録期間 ②科目により異なる、1セメスターで1~2科目開講 ③日韓集中講義は工学系研究科とソウル国立大学の間で互いに講師を派遣し、日韓遠隔交換講義(大学院学生対象)は両校をオンラインで結び、授業を開講する。テーマは毎回異なる。④ <https://ut-snu.t.u-tokyo.ac.jp>



### Visualizing Japan in the Modern World

①履修登録期間 ②A集中 ③MIT提供のedXの教材を基にした体験型授業。近代国家としての日本の誕生を物語る画像を見て、日本の歴史を学ぶ。フィールドトリップも行い、講義や学生同士の活動は英語で行う。④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/course/vj>





# Extracurricular Activities

## 課外活動

①募集時期 ②実施日時 ③概要 ④参照URL、QRコード

授業以外にも、東京大学ならではの、工学部・工学系研究科ならではのクオリティで、レベルに応じ、様々な時間に多様なプログラムが用意されています。この恵まれた環境を活用し、どう未来への一步を踏み出すか、皆さんの手にかかっています。

### 工学部内定者対象英語能力試験 (iTEP Academic)

①10月頃 ②10月 ③工学部内定者全員が、英語力を90分で測定できる試験 (TOEFL換算可能) を期間内の自由な時間にオンラインで受験でき、終了後は高精度なフィードバックが送付される。工学部の支援により無料。(通常料金は1万円以上) ④学生・院生用情報ポータルサイト、UTAS、各学科・専攻事務室を通じて周知

### 工学部TOEFL (R) 入門講座 (Zoom)

①工学部内定者および3年生: 12月~1月 ②2月上旬 (2時間講座) ③TOEFL講師による初心者向け体験・対策講座。録画した講座ビデオは、当該年度末まで視聴できる。ビデオ視聴のみであれば、全ての工学部・工学系研究科学生が申し込み可能。工学部の支援により無料。④学生・院生用情報ポータルサイトおよび各学科・専攻事務室を通じて周知

### スペシャル・イングリッシュ・レッスン (SEL)

①主に4月上旬・10月上旬 ②主にセメスター中の平日夕方~夜間 ③国際工学教育推進機構の監督の下、外部英語学校を学内に誘致し、東大生の英語力向上を目指すプログラム。英会話やTOEFL (R) 攻略など各種のレッスンがキャンパス内で開講され、受講料も比較的低価格に設定されている。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/sel/index.html>



### 海外大学とのオンライン国際交流プログラム

①主にセメスターの開始時 ②プログラムにより異なる ③工学系研究科と交流のある海外大学 (MIT、スウェーデン王立工科大学、ミュンヘン工科大学など) の学生と、オンラインで言語交換や文化交流等を行い国際理解を深めるプログラム。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/olcep/index.html>



### 英語学習 / 活用相談室 (ELC)

①随時 (予約不要・先着順) ② (オンライン) 毎週木曜日12:10~13:00 ③「英語を習得する」「英語を活用する」というゴールに到達する最適なルートについて、各自の目的、志向、興味に応じた学習方略などについて教員に相談することができるほか、英語に関する質問を何でも受け付ける。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/elc.html>



### Assistants for Communication in English (ACE) (IBERIC)

①随時 ②主に火曜日・木曜日16:00~17:00 ③トレーニングを受けた東京大学の留学生が、科学英語論文 (学術誌掲載論文など) やキャリア関連ドキュメント (履歴書や留学申請書類等) に対してフィードバックを行う。また、国際学会での口頭発表をサポートするため、プレゼンテーションへのフィードバックも提供する。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/eric/>



### 英語の庭

①随時 ②随時 ③公募で選ばれた東大留学生TAがペアを組み、1人または予約した1組のゲストとプライベートなZoom英会話を行う無料オンラインプログラム。1セッション15~30分程度。初心者から上級者まで対応可。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/garden.html>





# Exchange Events

## 留学生との交流イベント・留学生へのサポート活動

①募集時期 ②実施日時 ③概要 ④参照URL、QRコード

工学部・工学系研究科では、60以上の国と地域から、1,300名以上の優秀な留学生が学んでいます。この日本有数のグローバルな環境をいかして、日本に居ながらにして世界への扉を開いてみましょう。



### International Lounge (IL)

①随時 ②毎週金曜日12:00~13:00 ③異文化交流に関心のある東京大学の日本人学生・留学生・教職員が、留学生および日本人LA (Language Assistants) のサポートも受けつつ、自由な話題で気軽に英語、日本語、その他の言語による会話を愉しめる交流の場。出入り自由。

④ <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/program/il/> / <https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/activities/il/>



### サマーパーティー

①不定期 ②年1回 ③大勢の留学生と日本人学生たちが交流する夏の一大イベント。けん玉や折り紙などの日本文化を紹介するブースや軽食を提供することで打ち解けた雰囲気を作り出し、学生同士の交流を促進する。

④ <https://www.t.u-tokyo.ac.jp/event/ev2024-07-05-001>



### チューター制度

①年2回(4月および10月) ②随時 ③同じ研究室内の渡日したばかりの留学生に対して、日常生活・研究・授業などをチューターとして支援する制度。チューターの学生には規定の謝金が支払われる。④所属する研究室に確認

### 日本語教育コース 学生授業ボランティア

①S/A開始前+随時 ②学期中 ③初～上級レベルのいずれかのコースに参加し、日本語や英語で留学生をサポートする。グループワークやペアワークへの参加、口頭発表準備などのサポートを通して、留学生と交流ができる。

④ <https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/activities/volunteer/>



### 日本語教育コース 日本文化体験

①学期中開催(不定期) ②学期中開催(不定期) ③留学生が日本社会や文化についての理解を深められるように、着物、茶道、アニメアテレコ、落語、お汁粉等の体験や、浴衣、書道、折り紙等のワークショップを開催

④ <https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/culture/>





# Study Abroad Programs

## 海外留学・体験プログラム

①募集時期 ②実施日時 ③概要 ④参照URL、QRコード

海外との交流が盛んな東京大学、工学部・工学系研究科では、世界各国・地域50校以上のパートナー大学に授業料不徴収で交換留学することが可能です。休暇中に短期間で参加できるプログラムも用意して、皆さんをお待ちしています。※東京大学の正規課程の学生が対象。

### 工学部短期学生海外派遣プログラム[工学部][4週間程度]

①7月～ ②翌年2・3月 ③英語圏の大学に滞在し、英語学習を軸としながら工学関連の授業の受講、文化交流等を通じて英語能力、国際総合力の向上を目指すプログラム。これまで中・長期の留学・海外滞在歴のない学部生が対象。

④ <https://www.oice.t.u-tokyo.ac.jp/special/index.html>



### 海外武者修行[工学部・工学系研究科][数週間～数ヶ月]

①4月～/8月～ ②7～12月/11～3月中旬 ③海外著名研究室を訪問するための渡航支援プログラム。訪問先のアレンジは学生自ら行い、自身の研究成果の発表について一流の専門家からレビューを受けることにより、その後の研究へのモチベーションを高めることを目的とする。④募集情報については、学生・院生用情報ポータルサイトに掲載。 <https://info.t.u-tokyo.ac.jp/index.html>



### 全学交換留学[1学期～1年間]

①秋募集：8月～ 春募集：4月～ ②秋募集：翌年の秋学期から1学期/1年間 春募集：翌年の1・2月頃から開始の学期から1学期/1年間 ③交換留学のための学生交流覚書を取り交わしている海外大学に1学期～1年間留学する全学的なプログラム。

④ <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>



### 部局交換留学[工学部・工学系研究科][1学期～1年間]

①協定校が定める応募期限の1～2ヶ月前 ②各学期開始時期から1学期/1年間 ③工学部・工学系研究科がその特色を生かして学生交流覚書を締結している工科大学を中心とした海外大学に1学期～1年間留学するプログラム。

④ [https://www.oice.t.u-tokyo.ac.jp/exchange/to\\_partners.html](https://www.oice.t.u-tokyo.ac.jp/exchange/to_partners.html)



### 協定校・国内外の機関等によるプログラム[全学][数週間～3ヶ月]

#### サマー／ウィンタープログラム[全学][2～3週間]

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short.html>



### 体験活動(海外プログラム)[全学][1週間～1ヶ月]・海外企業体験[全学][1～2週間]

#### 東京大学グローバル・インターンシップ・プログラム(UGIP)[全学][2～3週間]

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/index.html>

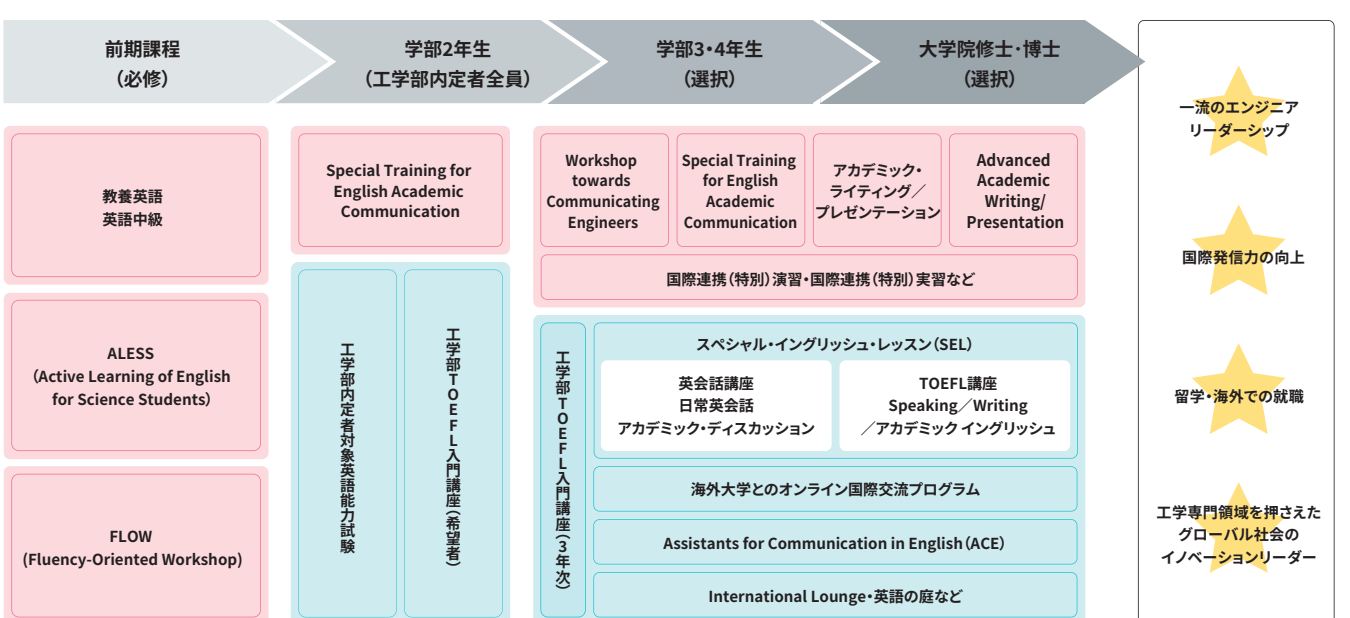


# Program List & Timeline

## ▶ 国際関連プログラム一覧



## ▶ 工学部・工学系研究科 国際関連プログラム タイムライン



# よくある質問

## Q. 留学に行く場合、費用はどのくらいかかりますか？

A. 交換留学の場合は、行く地域にもよりますが、東京大学に授業料を納めていれば留学先での授業料は不要となりますので、渡航費用や生活費などは必要ですが日本で生活するのとあまり変わらない程度の費用で留学することも可能です。また、協定校の寮が利用できる場合が多く、奨学金制度も充実しているので費用を抑えることが可能です。サマープログラム等短期留学の場合、費用はプログラムによって大きく異なります。ほぼ無料で参加できるものから、数十万円のプログラムまで様々ですので、よく調べて参加プログラムを検討してください。

## Q. 奨学金の情報はどこで入手できますか？

A. 工学部・工学系研究科に届いた奨学金情報については、「学生・院生用情報ポータルサイト」に掲載しています。全学規模で募集される奨学金については、各学部・研究科で締め切りが異なったり、独自の追加書類の提出が必要な場合もありますので、必ずポータルサイトをこまめにチェックするようにしてください。また、海外留学に関する奨学金は、奨学金の募集が留学プログラムの募集より先に実施されるケースもありますので、早めに情報収集を開始することをお勧めします。（学生・院生用情報ポータルサイトに掲載されている海外留学のための奨学金情報について不明な点がある場合は、下記OICEまでお問い合わせください。）

## Q. 国際交流活動に関して情報を集めるために役立つウェブサイト等がありますか？

A. 主なものとして下記ウェブサイトには、国際交流活動に関する情報が多数掲載されています。

### 【工学部・工学系研究科】

国際工学教育推進機構 国際教育部門(グローバル教育) <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/>

国際推進課 国際交流チーム(OICE, Office of International Cooperation and Exchange) <https://www.oice.t.u-tokyo.ac.jp/>

学生・院生用情報ポータルサイト(学内ネットワークからのみアクセス可能) <https://info.t.u-tokyo.ac.jp/index.html>

### 【全学】

東京大学海外留学情報 <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/index.html>

東京大学国際総合力認定制度 <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-gateway/ja/index.html> (リニューアル予定)

また、各学科・専攻において専門分野に応じた個別のプログラムが実施されていることもありますので、各学科・専攻事務室にご確認ください。

# 学生の声 (アンケートから抜粋)

留学経験を通して、私は自己成長を遂げることができました。英語能力の向上はもちろん、異文化を理解し、受け入れることの重要性を深く認識するようになりました。留学前は不安が多かったのですが、現在では新しい環境や異なる文化の中でも自信を持って振る舞えるようになりました。

(短期学生海外派遣プログラム参加学生)

留学により旅行では知り得ない現地の暮らしぶりや価値観等を肌で感じられた。日本にいただけではわからなかった世界の動きや日本の置かれている状況も理解でき、日本の良さだけでなく課題も見えてきた。それにより今後の進路について、より幅広い視点から納得のいく選択ができると思う。

(交換留学参加学生)

このプログラムで、研究に還元する経験のみならず、訪問先へのアポ取りから滞在スケジュールを全て自分で計画するという容易ではない貴重な経験を得られたことを嬉しく思います。また、研究内容だけでなく、海外の研究室の運営・空気に触れることができたのも自分の視野を広げることとなりました。そして、自分自身や研究の国際的な立ち位置も把握することができ、今後の研究活動に対するモチベーションがより高まりました。

(海外武者修行参加学生)

【編集・発行】2025年4月 東京大学工学系研究科・工学部 国際推進課

本ガイドブックの情報は、編集時点での情報です。

変更される可能性がありますので、最新の情報はウェブサイト等で確認してください。

【東京大学工学部】 <https://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe>

【東京大学大学院工学系研究科】 <https://www.t.u-tokyo.ac.jp>